

## 秋霖の季節

8月の台風以来自然災害への注意が高まり、自らを守ろうとする意識も増したかに見える。収穫の秋、実りの秋と言われる日本的なこの季節だが、一方では静かな秋雨(秋霖)の季節でもあるのだが、昨今は豪雨や竜巻やらで秋祭りの中止さえ聞かれるのは残念だ。しかし、海水の異常高温などでサンマは不漁、台風は直撃、瞬間最大風速は記録にないほどの値、国連で西欧の少女が地球温暖化阻止を叫んだが一人一人で出来ることをやらなければこの素晴らしい星を未来に残せない。

## ゴッホとピカソ

ゴッホとピカソと言えは20世紀の著名な画家、芸術の秋、文化の秋らしい話題かなと思われられるかも知れないが、別の角度から2人を対象とした面白い逸話があるので紹介したい。

人間は自ら自覚出来ない意識、いわば無意識=潜在意識(イメージ脳)感性を持っています。

昨日の昼飯を思い出せないとかメガネを付けて顔を洗うなどと言うのは認知症の始まりだなどと揶揄したりするがこれは無意識ではなく単純に忘れたこと=忘却にほかならない。

人間の脳は右脳(イメージ脳・潜在意識・直感・感性)と左脳(言語脳・顕在意識・理性)が備わっています。脳は容量的に左脳を最大限使っても3%で大抵の人は左脳ばかりを酷使しています。右脳は97%もあるのに活用していないそうだから多いに右脳=潜在意識(イメージ脳)をもっと活用したい。さて、前置きが長くなったが、ピカ(1881生)はゴッホ(1853生)

より30歳ど若いのだが、画家としてはとても対照的なのである。「炎の人」ゴッホと言われるが、画家として有名となったのは死後のこと、日常的に生真面目、常に顕在意識(理性)の人であり短い37歳の生涯を閉じた。一方、ピカソは生涯で一万点以上の油絵、10万点の版画、300点の彫刻を制作、自己主張が強く、潜在意識=イメージ脳(感性)をフルに活用し92歳を生きた。

対照的な2人から、日常的に直観的(イメージ脳)潜在意識をもっと有効に活用したいと思う。

言葉を持たない動物はテレパシーで集団行動、言葉があるだけに直観、感性を活用出来ない人間、自らに潜在意識の訓練を与え続けたい。

朝起きのボーンとしている時に夢の自分を置き換えよう! 叶えたい自分を創ろう!

19世紀のフランスの科学者シェヴルールの「振り子の実験」は自己暗示による潜在意識の活用で観念要素を積極的に更改し日常に活かす実験である。

## TOPICS

- |                       |                           |                        |
|-----------------------|---------------------------|------------------------|
| 1、業務用 大型浴水循環濾過装置 更改工事 | (1) 千葉県柏市 T建設(株)社員寮 9/2~9 | (2) 三浦市 N老人ホーム 9/19~24 |
| 2、業務用 大型浴水循環濾過装置 新設工事 | 3、家庭用 小型灯油給湯用ボイラー更改工事     | 検査試運転 立川市 老人ホーム 9/10   |
| 4、業務用 大型浴水循環濾過装置 更改提案 | 藤沢市 F邸 9/25               | 川崎市 N工業 9/27 打合せ       |